2024-25 RID2730

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

vol.11

5

2025

ロータリーのマジック

2024-25年度　RIテーマ

2024-25年度

ガバナー月信 ～今月の見どころ～

地区活動報告
グループ活動報告
クラブ活動報告
社会奉仕委員会便り　etc

ミヤマキリシマ（霧島山）

Rotary 第2730地区

笹山義弘ガバナー事務所
〒885-0072 宮崎県都城市上町8-9 メインホテル4F
TEL 0986-36-6130　FAX 0986-36-6131
E-mail g-office@ri2730.org

▲ガバナー月信はこちらから

2024-25 RID2730
GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER

国際ロータリー第2730地区
ガバナー月信　５月号

Contents　ー目次ー

1P　ガバナーメッセージ
2P　地区活動報告
3P　グループ活動報告
4P　クラブ活動報告
7P　社会奉仕委員会便り
9P　例会場変更のお知らせ
10P　ハイライトよねやま
12P　寄付金傾向
13P　会員数動向

ロータリーとは
基本理念

奉仕の理想
『Ideal of Service』

第一標語
超我の奉仕
『Service above Self』

第二標語
最もよく奉仕する者、
最も多く報いられる
『One profits most who serves best』

4つのテスト　The Four-way Test

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

〈ロータリーの目的〉

2012年(平成24)日本語訳を綱領から目的に改定　条文の訳も改訂
ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

第１　知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
第２　職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
第３　ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
第４　奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

ガバナーメッセージ

2024-25年度　国際ロータリー第2730地区
ガバナー　笹山　義弘
SASAYAMA　Yoshihiro
（加治木ロータリークラブ）

青少年奉仕月間に寄せて

皆さま、日頃よりロータリー活動にご尽力いただき、誠にありがとうございます。５月は「青少年奉仕月間」です。この機会に、未来を担う若者たちに目を向け、地域社会および世界における彼らの成長を支えるロータリーの役割について、改めて考えてみたいと思います。

青少年奉仕は、私たちロータリアンが次世代を育むための重要な柱の一つです。リーダーシップ、倫理観、国際理解を育てることは、将来の平和で持続可能な社会の礎を築くことにつながります。

あるクラブでは、地元高校と連携して「模擬国連」を開催しました。生徒たちは世界の諸問題について真剣に議論し、自国の立場を理解したうえで他国との対話を重ねました。これは単なる学習活動にとどまらず、青少年に国際的な視野と責任感を養う貴重な体験となりました。

また、別のクラブでは、インターアクトクラブと協力して「地域清掃ボランティア」を実施しました。若者たちは自らの地域に誇りを持ち、奉仕の精神を実践する中で、大人との世代間交流も生まれました。このような活動を通じて、ロータリーの理念は次世代へと確実に継承されています。

皆さまの中には、「青少年奉仕にどう関われればよいのか分からない」と感じておられる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、難しく考える必要はありません。ご自身の経験を語ること、活動の場に顔を出すこと――それだけでも、若者にとっては大きな刺激となり、尊敬の対象になります。

若者の目は常に、私たち大人の背中を見ています。私たちが情熱を持って奉仕に取り組む姿は、次代のリーダーを育てる最大の教材です。「誰かがやる」のではなく、「私が一歩踏み出す」――その気持ちが、未来を動かします。

この青少年奉仕月間を、新たな一歩のきっかけとしてみませんか。ぜひ、若者たちの成長のそばに、ロータリアンである私たちの温かいまなざしと行動を添えていただければ幸いです。

今月も、ロータリーの理念のもと、それぞれの地域における活動がさらに実りあるものとなりますよう、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

2025年２月23日(日)

「地区チーム研修セミナー」報告

2025年２月23日（日）、ホテル日向ベルフォートにて、午前11時から午後４時まで開催されました。

今年度の笹山ガバナーをはじめ、ガバナーエレクト、ガバナーノミニー、パストガバナー、ガバナー補佐、各部門長、委員長ほか85名のご参加をいただき、西本ガバナーエレクトの国際協議会の方針に基づき、ガバナー補佐のテーブル、各部門のテーブルに分かれ、パストガバナーのアドバイスのもと、活発なディスカッションが行われ、実りある研修となりました。

この開催・運営にあたっては、日向・日向東・日向中央・門川の４ロータリークラブの全面的なご協力に深く感謝申し上げます。また、遠くは奄美、鹿児島からご参加いただいた会員の皆様にも厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

次期地区幹事　大久保次郎

2025年３月８日(土)～９日(日)

「地区会長エレクト研修セミナー」報告

2025年３月８日（土）から９日（日）の２日間、エンシティホテル延岡にて開催され、122名のご参加をいただきました。

各クラブの会長エレクトに対し、西本ガバナーエレクトより次年度RIメッセージおよび地区方針についての説明があり、その後、パストガバナーからは会長の役割と責務、地区戦略計画についてのお話がありました。また、各部門長・委員長より地区運営方針について説明がなされました。

さらに、ガバナー補佐を主体とした11のグループに分かれた分科会では、「居心地の良いクラブとは」「退会防止」「会員増強」「楽しいクラブ」について活発な話し合いが行われ、各グループの代表者より発表をいただきました。

最後には、約20年ぶりに当地区にお越しいただいた、国際ロータリー日本事務局クラブ・地区支援室の尾畑様よりご講話を賜り、盛会のうちに終了いたしました。

本開催・運営にあたり、延岡、延岡東、延岡中央ロータリークラブの皆様の全面的なご協力に心より感謝申し上げますとともに、ご参加いただいたすべての会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

ありがとうございました。

次期地区幹事　大久保次郎

宮崎県中部グループ・南部グループ「合同インターシティミーティング　活動報告」

日時　2024年11月17日（日）
場所　シーガイアコンベンションセンター

宮崎県中部・南部グループは、令和６年11月17日にシーガイアコンベンションセンターにて、「ありがとう、ロータリー」をテーマに合同インターシティミーティングを開催いたしました。

内容は、「ウイルスとロータリー」をテーマとし、医学博士・峰松俊夫氏より基調講演を賜ったほか、クラブ活動報告として日南ロータリークラブ、佐土原ロータリークラブ、宮崎アカデミーロータリークラブより、特色ある各クラブの取り組みについてご報告いただきました。

当日は、笹山義弘ガバナーをはじめ、100名を超えるご参加をいただき、改めてロータリーの価値を認識するとともに、ポリオ撲滅、「ポリオのない世界」の実現に向けた意識の醸成や、各クラブが行う素晴らしい取り組みの共有を図ることができ、有意義なインターシティミーティングとなりました。

関係者の皆様の多大なるご協力を賜り、予定通り12時終了の３秒前に閉会することができましたことも、併せてご報告申し上げます。

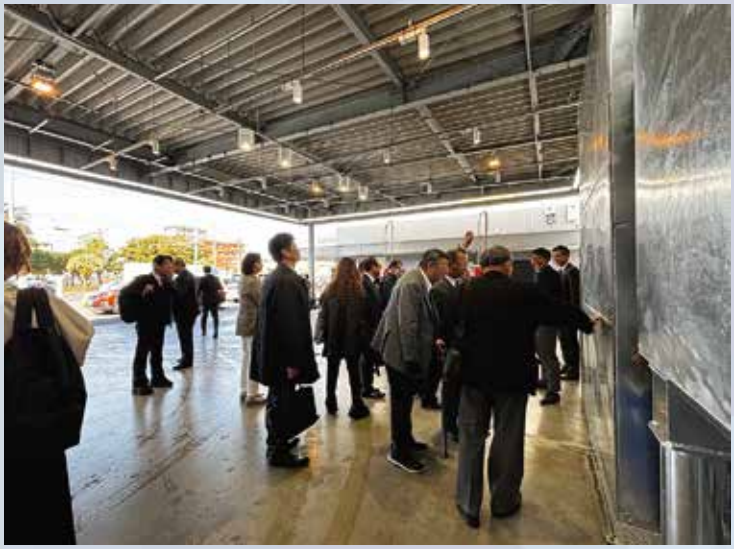
宮崎県中部Ｇガバナー補佐　戸髙　勝利・宮崎県南部Ｇガバナー補佐　峰松　俊夫

2025年１月31日(金)

鹿児島ロータリークラブ
「職場訪問例会」

鹿児島ロータリークラブでは、１月の月間行事として職場訪問例会を実施しており、本年は１月31日にトヨタカローラ鹿児島株式会社様を訪問いたしました。まずは本社会議室にて、中村会員より会社の概況や業界動向などについてご説明いただき、その後、サービス工場の視察を行いました。

視察後は、ポルダーテラスへ移動いたしました。こちらの店舗は、「環境にやさしい洗車」を提案する施設として、全国で初めて導入された洗車排水の再利用システムにより、使用する上水の約９割を削減することを実現しております。さらに、洗車の待ち時間にくつろいでいただくためのカフェやアウトドア用品ショップ、カローラおよびダイハツの車両ショールームが併設された複合型商業施設となっており、非常に興味深く視察させていただきました。



ご多忙の中、丁寧にご対応いただきました関係者の皆様に心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

鹿児島ロータリークラブ
水淵　大作

2025年３月13日(日)

きもつきロータリークラブ「ながら見守り活動」

この「ながら見守り活動」は、子どもたちが危険を感じた際の駆け込み場所として、「移動式子ども110番の家」としての役割も担っていると考えております。

また、「ながら見守り活動」に従事する会員自身の防犯・交通安全意識の向上にもつながるものと期待しております。

なお、独自に「防犯・交通安全ながら見守り活動中」のマグネットシートを作成し、当該活動に尽力するとともに、その普及・拡大のため、肝付町内４か所に「繋ごう！防犯・交通安全ながら見守りの輪」の横断幕を設置し、啓発活動にも貢献しております。

この「ながら見守り活動」が、地域住民の皆様の安全・安心、そして防犯・交通安全意識の向上につながることを、心より願っております。

きもつきロータリークラブ会長　藤﨑　徹

2025年１月

伊集院ロータリークラブ
「ロータリーの友　１月号表紙に掲載」

「NPO法人 樹」さんの障害者アート作品、髙橋椋さん制作の「桜島」が、『ロータリーの友』１月号の表紙に採用されました。

この作品は、さをり織りの余り糸を貼り付けて制作されたものです。

そのほかの作品も、イラスト・和紙の貼り絵・刺繍など、どれも独特の感性が光るものばかりです。スタッフの方々は、美術展への応募や展覧会開催など、披露の機会が増えるよう計画されています。

今後も、素敵な作品が生み出されるのを楽しみにしております。

伊集院ロータリークラブ
天辰　恵里

2024年12月７日～2025年２月22日

延岡東ロータリークラブ
「子どもの学びを応援！」学習教室を開催

「キッズマネークイズ大会！何問正解できるかな？」というテーマで、子どもたちは考えながら楽しくクイズに回答していました。

第３回は、令和７年２月22日にプログラミング教室を実施し、市内の高校生と一緒に楽しく体験学習を行いました。

子どもたちが笑顔で楽しそうに高校生と話している様子を見て、今回の学習教室を計画・実施したことに大きな意義を感じました。

今後も引き続き、地域社会に貢献できる活動を続けてまいります。

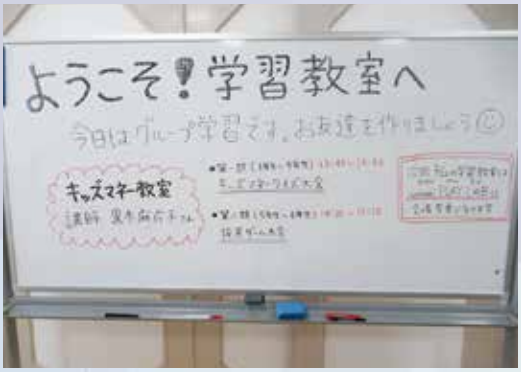
延岡東ロータリークラブ　中条　直範

私たち延岡東ロータリークラブは、NPO法人自立生活支援延岡ほほえみの会の協力のもと、「子どもの学びを応援！」学習教室を開催しました。

対象者は、延岡市内の小学１年生から６年生までの児童でした。

第１回は、令和６年12月７日にクリスマスワークショップ体験学習を実施し、市内の高校生と一緒にクリスマスツリーを作成しました。

第２回は、令和７年１月25日にキッズマネー教室を実施しました。



社会奉仕委員会便り

ロータリー雑感

宮崎中央ロータリークラブ　日高　淑晶

ロータリークラブに入会させていただき、早いもので丸８年が経過しました。

今回、はじめてロータリー雑感を投稿させていただくことに、緊張と共に喜びを感じています。

８年前、同じように緊張しながら初めて例会に参加させていただきました。そこでのバッジの授与や、会員の皆さんへの宣誓を行った入会式ももちろん記憶に残っていますが、そうそうたる経営者の皆さんが真摯に他人の話を聞いておられる姿に感銘を受けたことを、昨日のことのように思い出します。

例会に参加するたびに、米山奨学金制度のこと、海外あるいは国内の姉妹クラブの存在、ポリオ撲滅のための活動など、ボランティアの精神をもとに活動しておられる団体であることを知り、そこに所属させていただいていることに誇りを感じていました。

しかし、時が経つにつれ、その誇らしい気持ちに違和感を覚えるようになってきました。

その違和感が当初は何であるのかよくわかりませんでしたが、所属している宮崎中央ロータリークラブが、毎年宮崎シーガイアトライアスロンを開催していたり、交換留学生を通じて国際交流をしていたり、地元の高校に模擬面接を地道に継続していることを知り、その伝統と培われた信頼がロータリークラブの大きな土台であり、そこに自分がただ乗っかっているだけなのではないか――という負い目を感じていたのだと気づきました。

大学を卒業し、医師の資格を持ち、医師として社会に貢献していく中で、在宅医療という分野でより深く貢献したいと考え、12年前に開業しました。その活動を会員の方に認めていただき、入会のお声がけをいただきました。

社会に貢献したいという想いは当時から変わりませんが、社会に対して自分に何ができるのかと自問した時に、当たり前のことですが、一人では何もできないということに、この歳になってやっと気づかされました。

同時に、同じような志を持っておられる仲間がロータリークラブにはたくさんおられることに、言い知れぬ安堵の気持ちを感じるようになりました。

ロータリークラブに対する雑感として、入会してからの数年を振り返り、自分にとって最も変化したことは何かと考えてみました。

入会当初は、院長・理事長として医療法人クリニックを一人で引っ張っていたように、あらゆる面で「オレが、オレが」という意識だったのかもしれません。

それが、上記のような気づきを経て、「仲間と共に」と思えるようになった気がします。そして、それを支えているのは「自分には仲間がいる」という安心感だと言えるでしょう。

まだまだ先輩方が築いてくださったクラブの伝統と信頼に、ただ乗っかっているだけかもしれませんが、少しでもその伝統をつなぎ、また、社会からの信頼をますます厚くできるように、微力ながら活動していきたいと思っています。

このような気持ちに導いてくださったロータリークラブ、そして同じ志を持つ仲間の皆さんに、心から感謝申し上げます。

写真は、「まずは参加できることにはできるだけ参加したい。そして、できれば家族と共に…」と思い、娘たちと参加した、ロータリークラブ主催の美化活動に家族で参加した時のものです。

公益財団法人　都城地区ロータリークラブ
教育振興基金について

公益財団法人
都城地区ロータリークラブ教育振興基金
理事長　山村　正一

都城地区ロータリークラブ教育振興基金は、都城市内の４ロータリークラブのロータリアンからの寄付と、太陽光発電事業による事業収益をもとに、都城市内の高校９校の生徒たちに奨学金を支給しています。

この事業は、ロータリークラブの奉仕の精神に基づき、地域社会の教育振興に貢献することを目的としています。主な活動として、学業優秀・身体健全・志操堅固でありながら、経済的な理由で修学が困難な生徒に対して、奨学金を給付しています。

当基金の歴史は次のとおりです。

大正２年
都城島津家第27代当主・島津久家氏が郷土の人材育成のため、「都州島津奨学金」を創設しました。

昭和10年
第28代当主・島津久厚氏が先代の遺志を受け継ぎ、「島津奨学金」として苦学生への給付を継続しました。

昭和49年
都城ロータリークラブ創立20周年記念事業として「教育振興基金」が新設され、高校生への奨学金給付が開始されました。

昭和55年
都城北ロータリークラブ・都城西ロータリークラブが参画し、財団法人として設立されました。

昭和63年
都城中央ロータリークラブが加わり、４クラブ体制で活動を行うこととなりました。

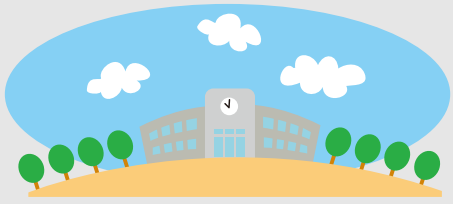
平成26年
公益財団法人へ移行しました。

平成30年
宮崎県公益認定等審議会より収益事業としての認定を受けました。

このように、大正２年から始まった奨学金制度は、昭和54年からは返還不要の給付型奨学金として継続され、これまでに延べ413名の学生を支援しています。

近年では、2019年12月の新型コロナウイルス感染症の発生により、経済的に困窮する家庭が増加しました。また、物価高騰による生活への影響も大きく、現在では支援枠を各校１名から２名に拡大して対応しています。

今後もこの基金を永続的に運営し、多くの学生を支援していきたいと考えています。



都城西ロータリークラブ

例会場変更のお知らせ

当クラブの例会場を令和７年５月より　下記の通り変更致しますのでお知らせいたします。

	旧	新
例　会　場	ホテル　テラスタ都城 ３Ｆ　テラスタダイニング	**中山荘** 〒885-0077　都城市松元町3-20 TEL 0986-23-3666
例　会　日	**水曜日 … 12時30分～13時30分**	

よろしくお願いいたします。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース
ハイライトよねやま
vol. 301
2025年4月14日
発行

1 第6代よねやま親善大使が決定！ 7/1始動

昨年12月から約3カ月間にわたり行われた「第6代よねやま親善大使」の募集には、29人から応募がありました。広報委員会、常務理事会にて厳正なる選考を行った結果、以下の3人が新たな大使に決定しました。任期は2025年7月から2年間で、日本全国でロータリー米山記念奨学事業をＰＲします。地区行事やクラブ例会などでのスピーカーとして、ぜひお声掛けください。よねやま親善大使に関するご連絡は、当財団事務局広報担当まで。

プーガ フロレス パブロ マヌエル
（メキシコ/2006-08/東京三鷹ＲＣ）
三菱鉛筆株式会社勤務。第2750地区東京広尾ＲＣ会員。2023-24年度同クラブ会長を務め、多様性、公平性、インクルーシブ性(ＤＥＩ)を意識したクラブ運営に取り組む。会長年度に同地区内一人当たりの米山寄付額が地区5位を達成。

ガンバト トゥメンバヤル
（モンゴル/2014-15/大府ＲＣ）
ココザス株式会社勤務。第3450地区フレーＲＡＣ元会長。モンゴルの小中高一貫公立学校への図書室設置プロジェクトや、チョンジュＲＣ(韓国)と協力し経済的に困難な家庭の幼稚園児への学費支援を行うなど、さまざまな活動に尽力。

カ レ タオ
（ベトナム/2023-25/旭川ＲＣ）
生活協同組合コープさっぽろ勤務。2024-25年度在日ベトナム学生青年協会・北海道支部の会長を務め、日本とベトナムの交流支援活動に尽力。その他、日本とベトナム両国の交流促進のためのイベントを多数企画・運営している。

2 米山奨学生が感謝を表現 第2660地区学友会

3月2日、大阪市内のホテルにて、国際ロータリー第2660地区米山学友会が「米山感謝祭」を開催しました。「米山感謝祭」とは、米山奨学生がお世話になったカウンセラーや世話クラブ、ロータリー会員への感謝の気持ちを伝えるため、奨学生自ら企画し、運営するイベントです。

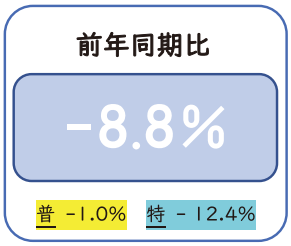
当日は米山奨学生・学友47人、同地区の大橋秀典ガバナー、吉川健之ガバナーエレクトをはじめ、多数のロータリー会員が駆け付け、参加者は106人となりました。

プログラムでは、「感謝の時間」と題し、奨学生たちがサプライズプレゼントや手紙をカウンセラーに贈り、直接思いを伝えました。また、米山バンドによる演奏と合唱が行われ、大盛況のイベントとなりました。

バンド演奏を行う奨学生たち

同学友会会長の呉偉偉（ゴイイ）さん（2010-11／青森東ＲＣ）は、「奨学生たちは約3カ月前から何度も打ち合わせを重ねてきました。参加者からは『カウンセラーになって本当によかった』『自分もカウンセラーをやってみたい』といった声も聞こえました。大きなやりがいと、米山奨学事業の素晴らしさを体感できた一日でした」と述べました。

3 寄付金速報 ― 単月では例年並みの推移 ―



3月末までの寄付金は前年同期と比べて8.8%減（普通寄付金：1.0%減、特別寄付金：12.4%減）、約1億740万円の減少となりました。3月分の単月寄付額としては、昨年度より約580万円増加しました。今年度も残り2カ月半ほどとなりました。4月は新規奨学生に関する行事も増加しますので、引き続き米山記念奨学事業へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

4 2025学年度奨学生採用とオリエンテーション開催

2025学年度の奨学生は965人となりました。新規採用者701人、継続者264人です（4月14日現在）。国・地域別では、中国40.1%、韓国13.1%、ベトナム13.0%、ネパール3.8%、インドネシア3.7%、マレーシア、モンゴル、台湾が同率で3.5%の順です。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学生が919人（学部429人、修士315人、博士175人）、地区奨励奨学生が25人、クラブ支援奨学生が2人、海外応募者対象奨学生が19人となっています。4月末までに新規採用者に対して各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かく、新たな奨学生をお迎えください。

5 「人生の宝物」世話クラブへのメッセージ

3月をもって多くの米山奨学生が奨学期間を終了し、新たな一歩を踏み出しました。今回は、中国出身の姜雅婷（キョウガテイ）さん（2023-25／交野ＲＣ）に、2年間の奨学期間を過ごした世話クラブである交野ＲＣへの感謝の思いを伺いました。

〈 姜雅婷さんより 〉

初めての例会は緊張で少し距離を感じていましたが、皆さまの温かさでいつの間にかとても身近に、そして家族のように感じられるようになりました。共にした思い出はどれも心に深く残っています。

この2年間、たくさんの方に支えていただきました。特にカウンセラーの嶋田健一さんとは、祇園祭に一緒に行ったり、浴衣を着たりと、日本の文化を体験する機会をたくさんいただき、

姜さん（右から2人目）とカウンセラーの嶋田氏（左）

異国の地での生活が心豊かで温かいものになりました。振り返ると、私は決して一人ではありませんでした。いつもそばで見守り、支えてくださる方々がいて、その温かさが大きな力を与えてくれました。おかげで自分らしく、前向きに歩んでくることができたと思います。

温かい笑顔に囲まれて過ごした一瞬一瞬が、私の人生の宝物となりました。交野ＲＣの一員として受け入れていただいたことを心から幸運に思い、そして感謝しております。皆さまと過ごした時間は、これからの私の人生において、ずっと輝き続けるでしょう。卒業後も、皆さまの活動にお力添えができればと思います。そのときにまた笑顔でお会いできることを楽しみにしています。

再見、またお会いしましょう。必ず！

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：https://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：長尾（ながお）

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会　24-25年度　寄付金の傾向

３月の寄付金傾向

３月分合計額　59,507,932 円
累計額　1,114,082,093 円（前年同期比 1億740万円減）

（参考　前年度３月分合計額：53,706,812円　累計額：1,221,484,671円）

普通寄付金

３月当月　12,449,806円
３月末累計　380,314,266円
（前年度比 1.01%減）
（　〃　389万円減）
（予算達成率 92.8%）

普通寄付金下期分は1,878クラブ（86%）からご納入いただきました（昨年度は1,898クラブ）。一方上期分から送金されていないクラブが180クラブあります。今年度もあと２カ月半程です。引き続き今後ともよろしくお願いいたします。

★普通寄付金納入状況・下期分（納入数/クラブ数）

地区	納入数／クラブ数	納入割合	地区	納入数／クラブ数	納入割合
2500	48／64	75%	2670	62／73	85%
2510	53／68	78%	2680	63／68	93%
2520	57／77	74%	2690	59／65	91%
2530	52／60	87%	2700	56／60	93%
2540	22／40	55%	2710	66／71	93%
2550	36／47	77%	2720	56／73	77%
2560	48／54	89%	**2730**	**50／68**	**74%**
2570	44／46	96%	2740	46／55	84%
2580	65／73	89%	2750	81／89	91%
2590	48／52	92%	2760	75／84	89%
2600	47／52	90%	2770	62／68	91%
2610	52／63	83%	2780	57／67	85%
2620	64／74	86%	2790	73／83	88%
2630	71／74	96%	2800	40／49	82%
2640	55／64	86%	2820	44／55	80%
2650	84／95	88%	2830	32／40	80%
2660	70／78	90%	2840	40／44	91%

合計：納入数 1,878RC
全地区ロータリークラブ数　2,193RC
普通寄付納入実績 ３月31日現在、当会入金分

特別寄付金

３月当月　47,058,126円
３月末累計　733,767,827円
（前年度比　12.36%減）
（　〃　１億351万円減）
（予算達成率　84.3%）

３月末累計額は前年同期比12.36%減、約１億351万円の減少となりました。前年度初めの１億円寄付の影響で、依然として前年度割れが続いているものの、３月分のみの単月寄付額としては、昨年度より微増しました。今年度も残り少なくなってまいりましたが、引き続きご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

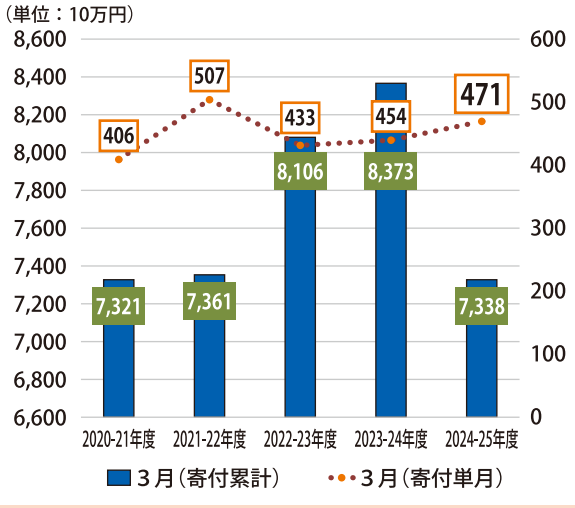
★創立記念寄付

（単位：万円）

地区	クラブ名	金額	地区	クラブ名	金額
2560	新潟	10	2750	東京青山	10
2580	東京江北	20	2760	名古屋丸の内	20
	東京御苑	10	2770	蕨	10
2600	長野北東	10	2790	大網	10
2670	御所	10	合計	９クラブ	110

年度別特別寄付金比較

（３月累計額及び単月比較）



●会員数動向（２月）

	クラブ名	期首(2024/7/1) 会員数(うち女性)	２月 末日会員数(うち女性)	7/1基準 会員数増減	MY ROTARY 登録率3/16現在
宮崎県北部	延岡	71(7)	72(7)	1	56.94
	日向	17(3)	17(3)	0	82.35
	延岡東	58(7)	55(7)	△3	60.00
	日向東	23(3)	22(2)	△1	86.36
	延岡中央	51(2)	50(2)	△1	72.00
	日向中央	15(2)	16(3)	1	75.00
	門川	7(1)	8(2)	1	75.00
	計（7RC）	242(25)	240(26)	△2	72.52
宮崎県中部	宮崎	102(7)	101(7)	△1	98.02
	宮崎西	90(8)	92(7)	2	40.66
	宮崎北	75(14)	74(12)	△1	40.54
	宮崎南	56(4)	59(4)	3	57.63
	高鍋	40(3)	38(3)	△2	34.21
	西都	17(3)	17(3)	0	29.41
	宮崎中央	50(3)	50(2)	0	86.00
	佐土原	26(3)	25(3)	△1	23.08
	宮崎東	25(3)	23(1)	△2	56.52
	宮崎アカデミー	36(8)	34(8)	△2	93.94
	計（10RC）	517(56)	513(50)	△4	56.00
宮崎県西部	都城	58(10)	61(10)	3	100.00
	小林	30(4)	30(4)	0	50.00
	都城北	45(4)	45(4)	0	82.22
	えびの	8(2)	8(2)	0	62.50
	都城西	33(7)	35(7)	2	45.71
	小林中央	8(0)	8(0)	0	37.50
	都城中央	31(5)	30(5)	△1	60.00
	2730ジャパンカレント	17(6)	18(5)	1	88.89
	計（8RC）	230(38)	235(37)	5	65.85
宮崎県南	日南	29(2)	30(2)	1	33.33
	日南中央	9(0)	10(0)	1	11.11
	串間	3(0)	1(0)	△2	33.33
	計（3RC）	41(2)	41(2)	0	25.92
鹿児島県北部	川内	69(3)	68(3)	△1	38.24
	串木野	27(7)	28(7)	1	67.86
	出水	45(5)	43(5)	△2	51.16
	阿久根	42(5)	42(5)	0	100.00
	大口	30(2)	31(3)	1	58.06
	薩摩川内	24(2)	25(2)	1	28.00
	宮之城	10(2)	8(1)	△2	37.50
	計（7RC）	247(26)	245(26)	△2	54.40

	クラブ名	期首(2024/7/1) 会員数(うち女性)	２月 末日会員数(うち女性)	7/1基準 会員数増減	MY ROTARY 登録率2/16現在
鹿児島県中部	加治木	30(1)	23(1)	△7	65.22
	国分	39(3)	40(3)	1	36.59
	霧島	15(0)	15(0)	0	33.33
	国分中央	37(4)	36(4)	△1	36.11
	姶良	18(0)	18(0)	0	17.65
	計（5RC）	139(8)	132(8)	△7	37.78
鹿児島県西部	指宿	17(0)	16(0)	△1	43.75
	伊集院	24(1)	24(1)	0	37.50
	加世田	20(1)	20(1)	0	55.00
	頴娃	12(1)	9(1)	△3	55.56
	枕崎	17(3)	19(4)	2	61.11
	計（5RC）	90(6)	88(7)	△2	50.58
鹿児島市A	鹿児島南	32(5)	33(5)	1	63.64
	鹿児島西	78(6)	76(7)	△2	57.89
	鹿児島城西	25(3)	26(4)	1	100.00
	鹿児島東	23(5)	23(4)	0	66.67
	鹿児島サザンウィンド	41(11)	41(11)	0	100.00
	鹿児島令和	31(6)	32(8)	1	93.75
	計（6RC）	230(36)	231(39)	1	80.33
鹿児島市B	鹿児島	66(6)	72(6)	6	38.89
	鹿児島東南	23(0)	24(1)	1	95.83
	鹿児島中央	51(5)	49(4)	△2	100.00
	鹿児島西南	10(1)	10(1)	0	20.00
	鹿児島北	24(1)	25(4)	1	88.89
	鹿児島大学アカデミー	42(9)	44(9)	2	97.73
	計（6RC）	216(22)	224(25)	8	73.56
鹿児島県東部	鹿屋	55(7)	55(7)	0	96.36
	串良	27(4)	26(2)	△1	42.31
	鹿屋西	44(8)	41(8)	△3	73.17
	志布志	21(3)	17(2)	△4	23.53
	かのや東	37(2)	36(2)	△1	33.33
	きもつき	21(1)	21(1)	0	42.86
	南九州大崎	28(2)	30(4)	2	36.67
	志布志みなと	36(4)	37(4)	1	100.00
	計（8RC）	269(31)	263(30)	△6	56.03
奄美	奄美	45(8)	45(8)	0	35.56
	奄美中央	65(12)	66(12)	1	15.15
	奄美瀬戸内	14(0)	15(1)	1	20.00
	計（3RC）	124(20)	126(21)	2	23.57
総計		2,345(270)	2,338(271)	△7	61.07

●入会者一覧
(ご入会おめでとうございます。)

２月		
会員名	クラブ名	入会日
河野　知明	日南中央	2025/2/18
木脇　節哉	日南中央	2025/2/18
下木原慶光	枕崎	2025/2/10
馬場マリア	枕崎	2025/2/17
宮田　聡子	鹿児島西	2025/2/5
佐々木朋哉	奄美瀬戸内	2025/2/5
佐々木希望	奄美瀬戸内	2025/2/5

●退会者一覧
(おつかれさまでした。)

２月		
会員名	クラブ名	退会日
酒井　弘	延岡中央	2025/2/28

●退会者一覧
(名誉会員へ)

２月		
会員名	クラブ名	退会日
中園　徹郎	延岡東	2025/2/12

ロータリーのマジックがいっぱい

2025年 ロータリー国際大会

2025年6月21日～25日
カルガリー（カナダ）

カルガリーでつながりを広げよう

カルガリーで開かれる2025年ロータリー国際大会で、つながりを広げ、インスピレーションを見つける旅の第一歩を踏み出しましょう！カナダのロッキー山脈に囲まれた絵画のような美しさを背景に、活気あふれるディスカッションに参加し、著名な講演者から学び、新たな発見ができる分科会をお楽しみください。

友情と協力の精神の下、ベストプラクティスや画期的なプロジェクトのアイデアを分かちあいながら、世界中から集うチェンジメーカーと生涯続く絆を培うことができます。

カナダのカルガリーで開かれる2025年ロータリー国際大会（2025年6月21日～25日）で、ロータリーのマジックをいたるところで感じ、ほかにはない体験を味わいましょう。

Rotary

CALGARY 2025

▲国際大会紹介ページ
https://convention.rotary.org/ja-jp/